

大分の青少年



令和4年度 中学生・高校生地域リーダー育成研修

1月22日(日)に日田市天瀬町にて「中学生・高校生地域リーダー育成研修」を開催しました。県内の中学校6校、高等学校9校から31名が参加し、「“それでも川が好き”に込められた天瀬の人たちが描く「物語」とは」というテーマで、天瀬地区の水害からの復興や町づくりについて学びました。

温泉街のフィールドワークで町の人々にインタビューした後、班ごとに調査内容について意見交換をし、各班でまとめた意見を発表し合いました。



日本文理大学高見先生の講義



町づくりに取り組む「あまみら」代表 近藤氏



グループワーク



グループ発表会

〈参加者の感想〉

- ・天ヶ瀬の町は“人とのつながり”が重要になっていることがわかった。
- ・天ヶ瀬の自然、川の音や景色、温泉のにおい等、五感に残るものが人々の川への愛に繋がっているのだと思った。
- ・他校の人との意見交換や、発表することを通してコミュニケーション力が身についた。
- ・自分達の地域を愛していくことが地域を守るために必要なことだと思った。今後は地域の人々との交流を深めたい。

天ヶ瀬で生きる人々の思いに直に触れることで、中高生が地域との関わり方について熱心に意見を交わしていました。今回の研修成果を参加した中高生が暮らすまちへと自らフィードバックするなど、地域を担う人材へと成長してくれることを期待しています。

発行：大分県青少年育成県民会議・大分県

(大分県大分市大手町3-1-1 大分県生活環境部私学振興・青少年課内 TEL 097-506-3076)

ホームページ： <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13255/seisyounenikuseijigyo.html>

Facebook： [大分県青少年育成県民会議](#)

検索

Email: oita.patrol@gmail.com



青少年のスマホ・インターネットの利用



～青少年のネット利用実態調査～

- 県では、令和4年9月、県内在住の小学生から高校生約1,500名とその保護者の計約3,000名を対象に、ネット利用実態調査を行いました。
- 調査結果では、**インターネット利用の低年齢化**
フィルタリング利用率の低下が見られます。
- スマートフォン等のインターネット利用が必須となった今、お子さんのスマートフォン等には、**ペアレンタルコントロール**
フィルタリング等の端末機能の管理や有害情報の制限を保護者が行いましょう。
- また、子どもさんの入学・進学シーズンの今、親子で一緒になってスマートフォン等のインターネットを上手に使うために、**家庭でのルールづくり**について親子で話し合いましょう。

青少年が**安全****安心**にインターネットを利用するために

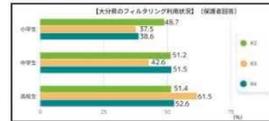


全国的に青少年のインターネット利用率は上昇傾向、低年齢化が進んでいます。保護者の手でネットの危険から子どもたちを守りましょう



ポイント ペアレンタルコントロールの活用

★端末ごとの設定でアプリの利用や利用時間の制限ができます。スマートフォン、タブレット、ゲーム機、それぞれに対応する方法があります。各製造メーカーのウェブサイトなどをご確認ください。
★フィルタリングサービスの利用で有害サイトの閲覧をブロックできます。



青少年(18歳未満)が使用する携帯電話には、原則としてフィルタリングサービスに加入することが法律で決められています。携帯電話事業者ごとに設定方法が異なります。詳しくは携帯電話事業者のウェブサイトや販売店にお問い合わせください。



QRコードから各携帯電話会社の「あんしんフィルター」につながります。

安心して利用するために お子さんと一緒に「家庭のルール」を作りましょう!

- 1 スマホやゲーム機を利用するのは、時～時までにはします
- 2 をしている時は、スマホは使いません
- 3 インターネットに接続する時は、お父さんやお母さんのそばで使います
- 4 変わったことや困ったことがあったら、必ず相談をします。1人で悩みません!

年齢や学年の変化に応じて「家庭のルール」も見直しましょう

中学生・高校生 ICTカンファレンス2022

令和4年9月23日(土)に大分市東春日町のソフィアホールで、「中学生・高校生ICTカンファレンス2022in大分」が開催されました。

今年度は3年振りにオンライン開催で行われ、県内の中学・高校10校から21名の生徒が参加し、「デジタル社会における学び方と学びの場」を議論テーマとして、熱のこもった議論を行い、その結果を発表しました。

参加者からは、「久しぶりに人と対面でディスカッションする経験ができてとても楽しかった。」「相手の考えていることを知ることができたり、自分の意見との違いを感じたり、お互いに意見を吸収して認め合えたりと、改めてディスカッションをする大切さを感じた。」などの声が聞かれました。

来年度も開催予定です。奮ってご参加ください。

REPORT
結果報告

3年ぶりの
オフライン開催!!

中学生 高校生 ICT 2022 カンファレンス

in大分

議論テーマ
デジタル社会における学び方と学びの場
ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

2019年12月に感染が始まった新型コロナウイルスにより、それ以前の日常は激変し、人と人が直接接する機会をなるべく減らす新しいコミュニケーションの時代に入っています。
コロナの完全終結は未定ですが、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、少しずつ新たな生活スタイルの構築が始まっています。これから始まる新しい生活スタイルはどのようなのか、新型コロナウイルスにより持ったなして始まった現在のデジタル社会はどう変わるのか。オンラインをテーマに問題点や課題を洗い出し、新たなデジタル社会への希望とこれまでは違うライフスタイルへの期待を明らかにします。

日時	令和4年9月23日(金・祝) 12:30～17:00	会場	ソフィアホール
参加	21名(高等学校7校13名、中学校3校10名) 大分県立大分県立高等学校・福徳学院高等学校・大分県立日出館台高等学校・平松学園 大分県立高等学校 大分県立大分工業高等学校・N高等学校・大分県立情報科学高等学校・大分県立大分豊田中学校・大分市立西中学校 日村市立野津中学校(異なる)		
主催	大分県、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、安心ネットづくり促進協議会 大分県立教育情報化研究会、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国協議会		
共催(大分県のみ)	大分県教育委員会、大分県高等学校PTA連合会		
共催(全国)	内閣府、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省、警察庁、消費者庁		
協賛	大分県新聞社		

「家庭のルール作り」などに関する情報はこちら ⇒⇒⇒
(私学振興・青少年課のHP)





県民会議加盟団体の活動

大分県青少年育成県民会議では、加盟団体またはその支部や下部団体が実施する、青少年育成につながる活動に対してその経費の一部を負担しています。

今年度、本事業にご応募いただいた中から、青少年育成事業を活用して行われた3団体の取組を紹介します。

おおいた子ども劇場主催「子どもキャンプ」



小学4年生～中学生までの子どもたちと、高校生・大学生・社会人の青年指導員で、子どもたちが主体となって作る「子どもキャンプ」を実施し、76名が参加しました。

子どもたち自身の手でキャンプを作るため、事前に4回の地域ごとの集まりを持ち、遊びや話し合いを通じてお互いが仲良くなりながらキャンプの計画を立てていきました。

当日は、グループ毎に自分たちで決めたメニューで野外での食事作り、中学生実行委員会の企画・進行による「全体あそび」や「キャンプファイヤー」などのイベント、河川プールでの川あそびなど、3日間をフルに使ってキャンプ生活を楽しみました。自然の中で思い切り遊び、仲間といっしょに作るキャンプの体験は、子どもたちにとって新鮮で、特別に楽しいものになったようです。

別府親と子の劇場主催「新聞紙から生まれる『オズのまほうつかい』の世界」

11月26日(土)に、別府市内竈公民館にて、一人ひとりが自分の発想と表現を拓げる人形劇の楽しさを体験することを目的に、「オズのまほうつかい」に登場するキャラクターを新聞紙で作って劇遊びを行う、体験活動を開催しました。当日は、子どもから大人まで、延べ32名の参加がありました。

まず、プロの人形劇団員と一緒に実際に舞台上で使う人形を動かす体験を行い、続いて人形作りに取り組みました。新聞紙を細く巻いて棒状にしたものを用いて、舞台上で使う人形と同じ仕組みの骨格を作り、子どもたちそれぞれのデザインで顔や衣装を付けました。最後はできた人形をお互いに見せ合い、参加者は楽しみながら交流を深めていました。



由布市青少年健全育成市民会議主催「由布市青少年リーダー交流研修会」



由布市内のそれぞれの地域で活動する中学生・高校生の青少年リーダーの相互の交流と情報交換の場、リーダーとしての資質向上を目的として、7月～1月に全4回、開催しました。

第1回・第2回は、シニアリーダースクラブの方々に指導をいただき、レクリエーションについて学び、レクリエーションの企画・実践を行いました。また、第3回では地域の方々に教えていただきながらしめ縄づくり体験を行い、第4回では由布市役所本庁舎にて職場見学を行いました。

4回の研修を通じて延べ29名が参加し、青少年リーダー同士の交流も深まり、とてもよい機会となりました。

市町村民会議の取組

豊後高田市 (豊後高田市青少年健全育成市民会議)

豊後高田市青少年健全育成市民会議は2支部、9協議会で組織され、年間を通じて、活動を行っています。今年度の特徴的な取り組みを紹介します。

一つ目は地域の「学びの21世紀塾」と連携して行った体験活動です。文化財探訪と写真撮影体験を地元の方の協力を得て、地域に伝わる修正鬼会、史跡などの郷土の魅力を学びました。

※活動詳細は2次元コードからご覧ください。



文化財探訪

二つ目は家庭の日普及啓発のため行った「家庭の日ほのぼの写真展」についてです。作品応募にあたっては、身近な家族と共同で取り組むことで、より絆を深めることを目的とし、写真展では家族と「ほのぼの」とした瞬間を紹介することができました。今年度は1月末より市立図書館で展示会を実施したほか、3月には地元ケーブルテレビにて1週間、データ放送を予定しています。



写真展開催

地域に根ざした更生保護

様々な更生保護ボランティアが、それぞれの持ち味を生かしながら、連携して犯罪（非行）をした人の立ち直ろうとする気持ちを応援し、地域で支えています。



興味がある方は、大分保護観察所へお問い合わせください。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 Tel 097-532-2053

大分県青少年育成県民会議入会のお願い

大分県青少年育成県民会議は市町村民会議をはじめ企業、団体等100団体で構成されています。県内の青少年が、地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立できるよう、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を目指しています。

当会議の活動は、皆様からの会費によって支えられています。この活動の輪をさらに広げるため、活動や趣旨に賛同・ご協力いただける企業や団体の皆様の新規ご加入を募集しています。

参加申込書は、県民会議HPに掲載していますので、必要書類を記入のうえメール等でお申し込みください。（連絡をいただければ、郵送でもお送りします。）

詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

会費・・・正会員 年間3,000円 賛助会員 年間5,000円

